希望の杜だより

発行　社会福祉法人希望の杜福祉会
970-8026いわき市平北目町39-10
TEL0246-38-6201　FAX0246-25-5608
http://www.kibounomori.or.jp/
mail　kibou@kibounomori.or.jp

第　2　号　　2007年8月31日

わたしたちが目指しているもの

1. 地域における共同の事業や運動をともにすすめ、障がいのある人びとが生きがいと誇りをもてる社会をめざします。
2. 障がいのある人びとが社会に参加し、また地域での豊かな暮らしをともに築く権利の保障をめざします。
3. 障がいのある人びとと関係者一人ひとりが大切にされる事業体として、責任ある経営をめざします。

新しい事業形態になって　何がどう変わったか

前号でお知らせしましたように、障害者自立支援法に基づいて、当法人の四つの授産施設が、四月一日より就労継続支援事業所（B型・非雇用）に変わってから、三ヶ月が経ちました。

時給引き上げが状況を少しでも和らげた

私たちが移行に際して最も意を注いだのは、通所者の利用料が増えるので、この負担を本人（あるいは家族）に押し付けないようにするため、工賃を上げて実質手取り額が減らないようにする取り組みでした。

表1　けやき共同作業所の利用料と工賃の推移

	2007年4月		それ以前		
平均工賃額	平均利用料	平均実質手取額	3月までの時給計算すると	平均利用料	平均実質手取額
23,981円	5,504円	15,942円	15,942円	3, 000円	12,942円

表2　通所者の平均利用料の変化

	2007年5月	2007年3月	5月の最高利用料額と人数
けやき共同作業所	5,372円	3,000円	9,300円、5人
工房けやき	5,668円	3,000円	9,300円、3人
あとりえ北山	4,719円	3,000円	9,300円、1人
ふたばの里	5,107円	3,000円	10,150円、1人
4施設平均	5,216円	3,000円	

その結果を「けやき共同作業所」に例をとってみますと、「表1」のように利用料が増えても、工賃が多くなったので、差し引き実質手取り額は増えています。

他の三つの作業所も同じ傾向ですが、これは、お弁当・豆腐・おからドーナツ・喫茶店などの売り上げを増やすため、職員を先頭に通所者・ボランティア・関係者のみんなの頑張りで生み出されたものでした。

こうしてこの三ヶ月はうれしい結果となりましたが、しかし、重い利用料の問題が消えてなくなったわけではありません。

重い利用料は自立の意欲さえ奪いかねない

障害者自立支援法は、従来の応能負担（経済能力に応じた負担）という考え方を、応益負担（サービスに応じた負担）に変えました。その結果、障がい者の定率一割負担が持ち込まれ、いくつかの軽減策はあるものの、障がい者の負担は大変重くなりました。「表2」のように、四つの作業所の平均で負担が月2，216円も増え、最も増えた人で7，150円が一人、次いで6，300円増えた人が九人も出ています。

もし負担金が増えていなければ、一人は7，150円、九人は6，300円の手取りがさらに増えることになったはずです。

表3　２００７年５月の工賃など

	実利用者数（人）	平均利用料（円）	最高工賃額（円）	平均工賃額（円）	利用料差引き後の平均手取額（円）
けやき共同作業所	２６	5, 372	43, 602	27, 603	22, 231
工房けやき	１４	5, 668	46, 600	33, 429	27, 761
あとりえ北山	１８	4, 719	31, 300	17, 089	12, 370
ふたばの里	１２	5, 197	36, 100	26, 775	21, 669
４施設平均		5, 216		26, 224	21, 000

自立支援法の弊害を取り除く運動を大きくしましょう。

私たちが時給引き上げという対策を取っていなかったら、利用者工賃は三月までもらっていた額よりも少なくなり、障害者自立支援法の名前とはおよそ逆の結果となったでしょう。

工賃獲得を目的にしていない作業所やグループホーム、自立訓練事業などの利用料増大は、利用者にとって深刻な事態となっています。

現在施行されている軽減策は原則三年間だけですので、今後、応益負担そのものをなくす運動がますます大切になっています。

福祉の窓

統合失調症はどんな病気か

統合失調症とはどんな病気か

障害者自立支援法にのっとった事業所（施設）は、原則として三障がい（身体障がい・知的障がい・精神障がい）者を受け入れることとされましたが、これまで「希望の杜福祉会」の施設は、精神障がい者が中心となってきました。

そこで精神障がいのうち比較的多い「統合失調症」（かつては精神分裂病と呼ばれましたが、人格を否定するような響きをもつところから、日本精神神経学会で検討を重ねた結果、２００２年に変更されました）は、どんな病気かお知らせしたいと思います。

特殊な病気ではありません

十六歳から四十歳ぐらいまでの比較的若い年代におきやすい病気です。発病率は０．７５％で、１２０人に一人の割合です。精神障がいでもう一つ多い「そううつ病」と合わせると１００人に一人、つまり１％の発病率となります。かなり多くの人におこりうる病気です。

脳をはじめとした神経系の働きの不調によっておこるものです

どうして病気になるのかについては諸説ありますが、その原因は明らかになっていません。

この病気が主に脳の神経系統の病気であり、ドーパミンやセロトニンなどといった神経伝物質が関係していることはほぼ明らかであると言われています。

その人にとって過剰なストレスがもとで、脳の働きが過剰になりすぎ、不安定になるため、精神面に症状が現れます。親の育て方で病気になるのではありません。

治療の過程では、服薬とストレスの少ない環境が大切だといわれています。また、遺伝との関係も立証されていませんが、ストレス脆弱（ぜいじゃく）性説といって、ストレスに対する弱さが発病に関係しているという考えがあります。病気になりやすい要因（脆弱性）は受け継がれるといわれています。

主な症状

陽性（活発で派手な）症状・・・

妄想、幻聴、混乱した思考とまとまりのない行動・落ち着きのなさ、感情の不安定さなど

陰性（不活発な状態）症状・・・

感情が乏しくなる、会話の量と内容が乏しくなる、意欲が乏しくなり、終日ごろごろする、閉じこもるなど

治癒可能な病気です

統合失調症は以前は、きわめて治りにくい病気だと言われてきましたが、ここ２０年で新しい薬が開発され治療可能な病気へと、状況は大きく変わってきています。

つぶやき

自分でもびっくりしてるんですが、けっこう「けやき」のホームページを見てくださってる方、多いんです。

４月に開設して、現在までで千七百人の訪問があります。

確かに、アイドルのブログもたいには行かないとは言え、はじめは月に百人見てくれればいいかな、なんて、本音では思ってたんですが・・・

でも実をいうと、こまめに更新はしてるんです。しかも、夜中に思い出したように自宅でゴソゴソと。ですから、お知らせ欄の更新時間も見ていただけると、こんな時間にこの人何やってんの？　みたいなツッコミもできますよ。

いずれにせよ、「けやき」の最新情報は、ホームページでキャッチできるようにしています。訪問者が多ければ、更新もはりきってぬかりなくやりますので、ぜひ、お立ち寄りください。

そのうち、ブログも開設します。さらにリアルに、読んでわかるだけでなく、「感じる」こともできるページをめざします。

簡単検索は、「いわき　けやき　希望の杜」で。お気に入りにも登録してください。

「けやき」はどんどん進化します！

事業所紹介

工房けやき

いわきの地豆腐を作る「工房けやき」の設立は、2002年4月1日。当時の利用者の工賃200円を300円に、そしてさらに高い工賃をめざす作業所として、また一般就労にもっとも近い事業所としてスタートしました。

「いわきの地豆腐」は、現在、県で取り組んでいる「地産地消」の理念にかなった、まさに「いわきブランド」です。地元三和産大豆を使い、不要な添加物を一切使わず、天然にがりで作り上げた、豆の甘味と旨みが素直に味わえるお豆腐です。

今、食の安心・安全が揺らいでいますが、私たちは当初から、働く利用者の皆さんが自信を持っておすすめできるお豆腐作りに取りくんできました。

最近話題の新商品は、手揚げの厚揚げ。おろし生姜やねぎ、大葉などを添えてしょうゆをたらせばおかずにもお酒のお供にも最高！

また、ご注文に応じて製造する「湯葉」も、「こんなおいしい湯葉は食べたことがない」と言われるほどの一品です。

冷奴のおいしいこの季節。刻んだザーサイ、たたき梅と刻みトマトを合えた物、塩とごま油、など、人によって食べ方いろいろ。

どうぞ、夏の涼みのひとときを、工房けやきのお豆腐でお楽しみください。

※工房のおとうふは、工房売店ほか、作町のあとりえ北山、駅どおりのフレンドリーショップけやきでもお買い求めいただけます。

フレンドリーショップけやき

いわき駅をでたら左に向かい、ちょうどイトーヨーカドーさんをめざす途中にある、「フレンドリーショップけやき」。この7月から、揚げたてドーナツと、豆乳ソフトアイスを提供できるようになりました。

歩道からはちょうど、ドーナツ製造機によってドーナツが次々と揚がって行くのを見ることができます。同時に甘い匂いも鼻をくすぐり、誘われて買えば、外側はカリッと、そして中はふんわり、思わず1袋を一人で食べてしまいそうになります。

また、おすすめの豆乳ソフトは、軽い甘さの後味の奥から、思い出のようにおとうふの味が香りたちます。
さっぱりしたおいしさで、おなかの中から涼しくなります。

そしてさらに、今話題になっているのが「妖怪汁」。高速のサービスエリアで販売されていたもので、いわきで普通に買えるのは、おそらく「けやき」だけです。妖怪ブームは実は社会的背景がうんぬんと、妖怪好きのスタッフが・・・

まだまだ発展途上の「ショップ」。次の課題は、冬の本格改装と、市民の皆さんに活用していただけるような、店内イベントの開催です。

あとりえ北山と連動しての、いわきの作家の方々の作品展、特にあとりえではなかなか扱えない立体作品の展示、

また、様々なサークルの発表の場として、あるいは、「ショップ」発信の市民参加の企画など、可能性は広がります。

市民の方々の交流の場として、皆さんもぜひアイデアなどお寄せください。